

第28回 日本小児外科QOL研究会

プログラム・抄録集



手術を受けるこどものために
わたしたちが出来ること

会期 2017年 11月4日(土)

会場 静岡グランシップ 10階 会議室1001-2

会長 漆原 直人 静岡県立こども病院小児外科

第28回
日本小児外科QOL研究会

プログラム・抄録集

手術を受けることのために
わたしたちが出来ること

会期 2017年 11月4日(土)

会場 静岡グランシップ 10階 会議室1001-2

会長 漆原 直人 静岡県立こども病院小児外科

INDEX

会長挨拶	1
ご 案 内	2
会場周辺図・交通のご案内	4
会場のご案内	5
幹事会・懇親会会場周辺図・交通のご案内	6
幹事会・懇親会会場のご案内	6
参加者へのお知らせ	7
日 程 表	9
プログラム	10
抄 録	
特 別 講 演	16
教 育 講 演	17
ランチョンセミナー	19
一 般 演 題	22
会 則	47
会員名簿	49
歴代会長	56
協賛企業一覧	58

ご 案 内

第28回日本小児外科 QOL 研究会

■開催会場

静岡グランシップ 10階 会議室 1001-2

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4

TEL：054-203-5710

■幹事会・懇親会会場

中島屋グランドホテル

〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町3-10

TEL：054-253-1151

11月3日(金)

幹事会 17:00～17:45 中島屋グランドホテル 3F ジャスミン

懇親会 18:00～20:00 中島屋グランドホテル 3F オリーブ

11月4日(土)

会 場：静岡グランシップ 10階 会議室 1001-2

研究会 開場 8:30

施設代表者会議 11:20～11:40

9:54～10:14 **特別講演**

座長：北川 博昭（聖マリアンナ医科大学 小児外科）

入院生活の QOL 改善や治療効果向上を目指した ファシリティドッグによる介入について

鈴木 恵子（認定特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ
ファシリティドッグ・ハンドラー, R.N.）

11:50～12:50 **ランチョンセミナー**

座長：漆原 直人（静岡県立こども病院 小児外科）

食物繊維の食事療法と効果

土岐 彰（昭和大学医学部 外科学講座 小児外科学部門）

共催：株式会社大塚製薬工場

12:50～13:10 **教育講演**

座長：前田 貢作（兵庫県立こども病院 小児外科）

新生児期に外科的侵襲を受けた児の長期的 QOL を好くするために —多職種連携による母親の精神的サポートを目的とする 近畿周産期精神保健研究会の取り組み—

窪田 昭男（和歌山県立医科大学 第二外科）

第28回日本小児外科 QOL 研究会 事務局

静岡県立こども病院 小児外科

矢本 真也

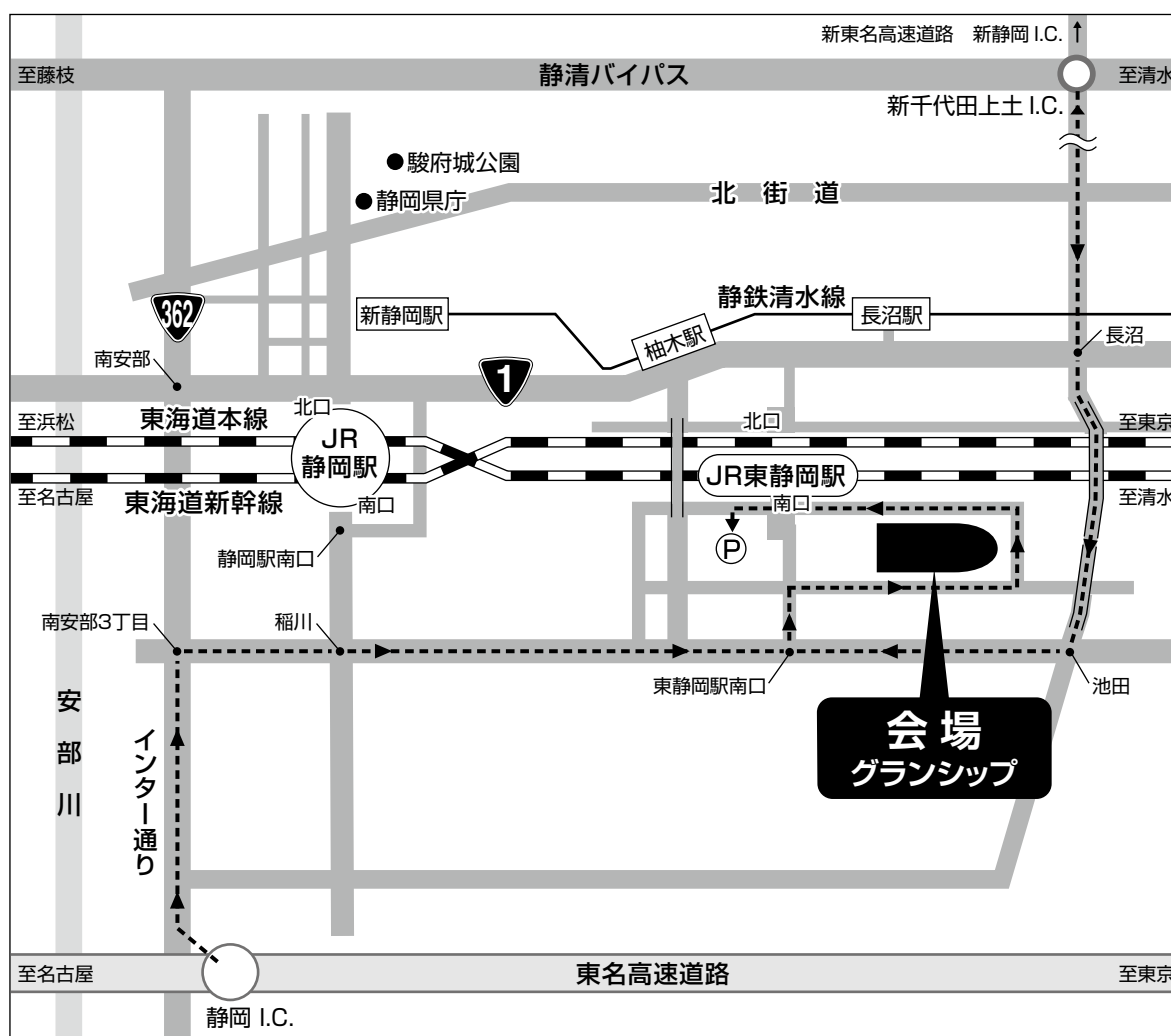
〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山860

TEL：054-247-6251 FAX：054-247-6259

E-mail：ch-surgery@i.shizuoka-pho.jp

URL：http://psq28.umin.jp/index.html

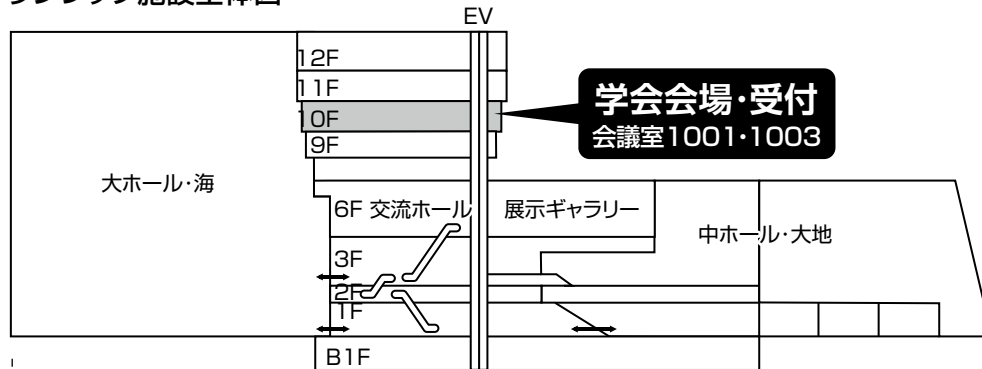
会場周辺図・交通のご案内



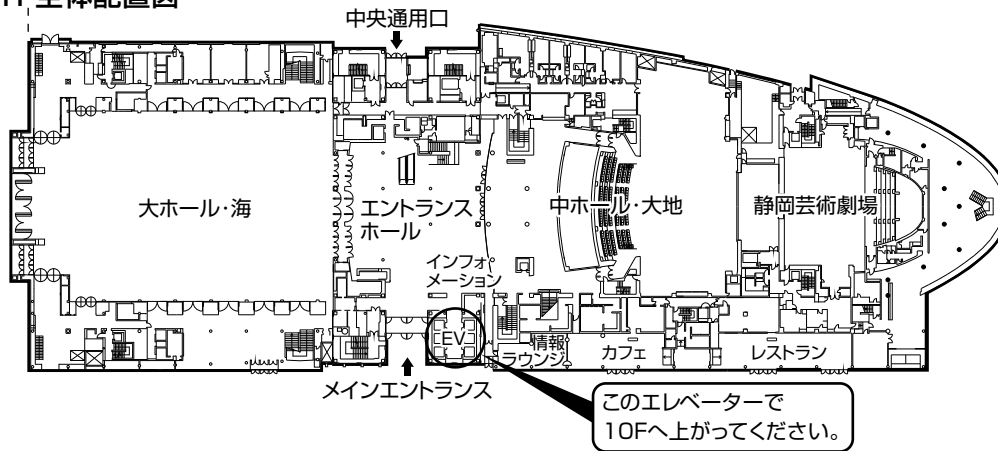
- JR「東静岡駅」南口隣接
- 静鉄清水線「長沼駅」から徒歩10分。
- 東海道新幹線（ひかり）で「東京駅」から1時間、「新大阪駅」から2時間。
JR「静岡駅」で乗り換え、「東静岡駅」まで3分。
- 車では東名高速道路「静岡I.C.」から6km、15分。
新東名高速道路「新静岡I.C.」から9km、15分。
静清バイパス「千代田上土I.C.」から4km、10分。

会場のご案内

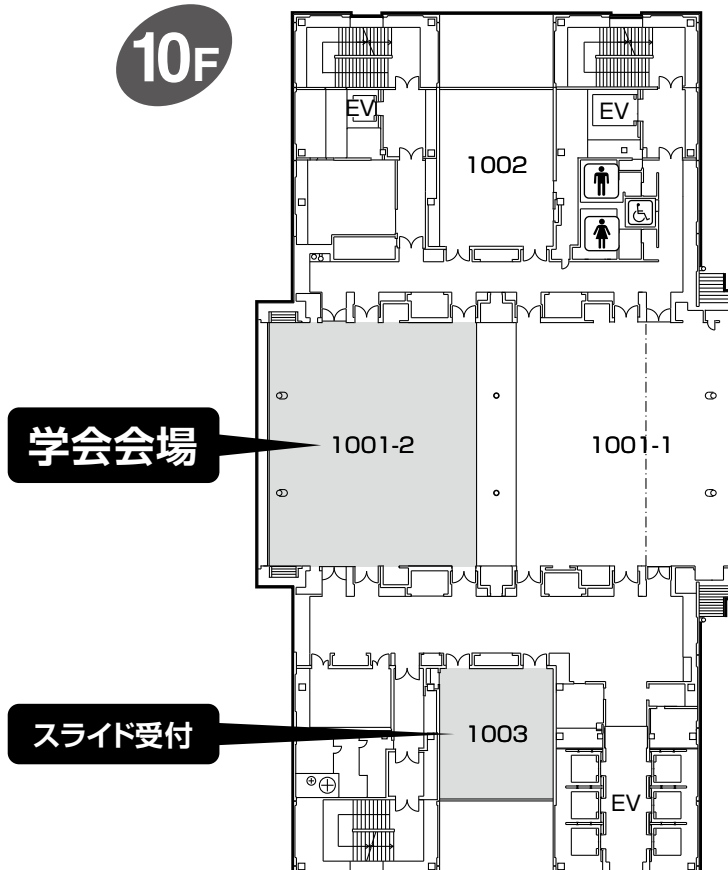
● グランシップ施設全体図



● 1F全体配置図



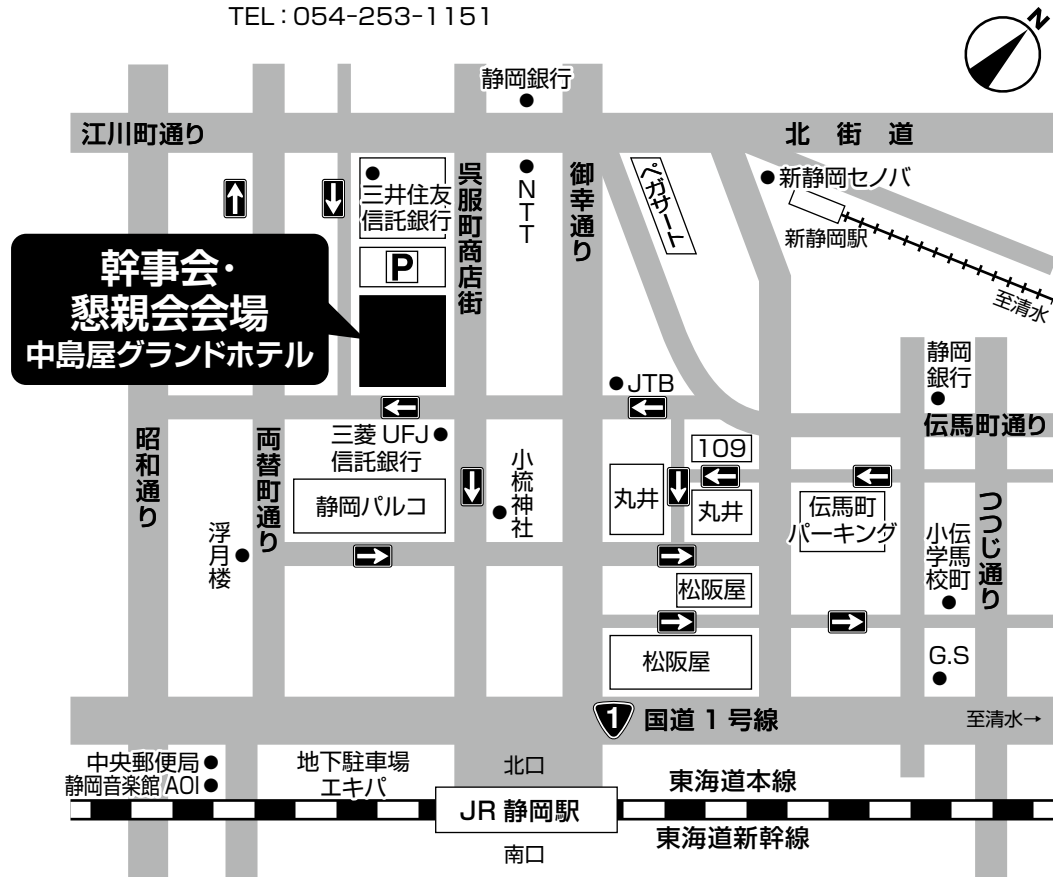
10F



幹事会・懇親会会場周辺図・交通のご案内

幹事会・懇親会会場：中島屋グランドホテル

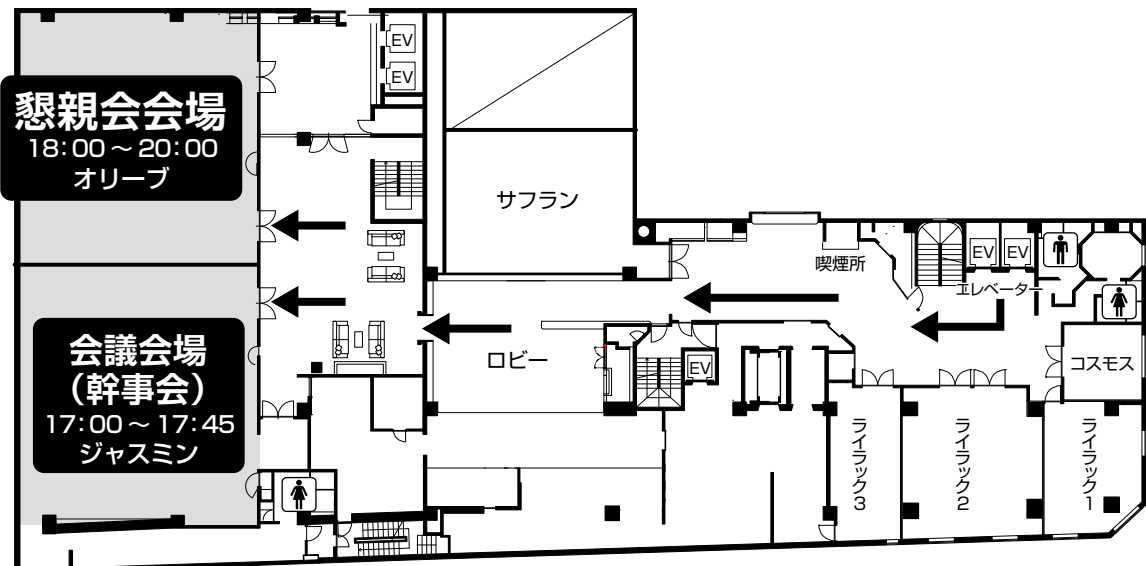
〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町3-10
TEL：054-253-1151



●JR「静岡駅」北口から徒歩5分。

3F

幹事会・懇親会会場のご案内



参加者へのお知らせ

I. 開始時間、参加費、プログラムなど

- 開場・受付開始は午前8時30分です。
- 研究会参加費5,000円を受付にてお支払いの上、参加証兼領収書をお受け取りください。クレジットカードによる参加費のお支払いはできません。
ただし、学生は無料ですので受付にて学生証を提示してください。
- 学会期間中、会場内ではネームカードを必ず着用ください。
- 会場内での携帯電話等のご使用は会の進行の妨げになりますので、電源をお切りいただくか、マナーモードへの切り替えをお願いいたします。
- プログラム・抄録集は、あらかじめ発表者に送付します。当日ご持参ください。

II. 発表形式、受付

- 発表時間は5分、討論時間は2分です。
発表時間を厳守し、討論は座長の指示に従ってください。
- 発表はPCプレゼンテーションに限らせていただきます。下記の事項にご留意いただき、ご準備いただきますようお願いいたします。
- 演者は発表の30分前までに演者受付にて発表データの受付・試写を行うか、PC持ち込みの旨をお伝えください。

■データ持ち込みの場合：

- 会場で使用するPCのOSはWindows7, アプリケーションはPowerPoint2013です。Macintoshはご用意しておりませんので、ご自身のノートパソコンをお持ちください。
- 受け入れ可能メディアは USBフラッシュメモリーのみです。その他メディアは受付できません。念のためにバックアップもお持ちください。
- 発表データのファイル名は「(演者番号)(氏名)」としてください。
- メディアは、ウイルス定義データが最新のものに更新されたセキュリティーソフトを使用して、ウイルスが感染していないことをご確認の上お持ちください。
- 動画をご使用になる場合には、動画ファイルとPowerPointファイルを必ず1つのフォルダにまとめて保存してください。動画をご使用の場合はWindows MediaPlayerの初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください(動画ファイルはWMV形式を推奨します)。なお、動画については再生に問題を生じる可能性がありますのでバックアップにご自身のノートパソコンをお持ちください。
- 音声はご使用になれません。
- コピーした発表データは、発表終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

■ ノートパソコンをお持ち込みになる方へ

- 会場に用意するプロジェクター接続のコネクタ形状は、D-Sub15ピン（ミニ）です。これ以外の映像出力端子の場合は変換アダプタが必要になりますので、ご自身で必ずご用意ください。
- モニター出力の解像度はVGA（1024×768）に設定をお願いいたします。
- AC アダプタ（電源）は忘れずにご持参ください。
- 演者は発表時間30分前までに会場PC席までノートパソコンをお持ちください。起動時にパスワードを設定している場合には必ず解除し、またスクリーンセーバーも解除した状態で発表ファイルを起動してください。

3日の幹事会、懇親会は中島屋グランドホテル（最寄駅 JR 静岡駅）

4日の研究会会場は静岡グランシップ10階（最寄駅 JR 東静岡駅）

会場が異なりますのでご注意ください。

日 程 表

11月3日金		11月4日土	
中島屋グランドホテル		グランシップ 10F 1001-2	
9:00		9:00～9:05	開会の挨拶
		9:05～9:54	要望演題 1 術後の合併症対策と QOL 向上の手術 1 座長：植村 貞繁 大畠 雅之
10:00	演者：鈴木 恵子 座長：北川 博昭	9:54～10:14	特別講演 入院生活の QOL 改善や治療効果向上を目指したファシリテッドによる介入について
		10:24～11:13	一般演題 1 座長：加藤 純爾 大野 康治
11:00		11:20～11:40	施設代表者会議
		11:50～12:50	ランチョンセミナー 食物繊維の食事療法と効果 演者：土岐 彰 座長：漆原 直人 共催：株式会社大塚製薬工場
12:00		12:50～13:10	教育講演 新生児期に外科的侵襲を受けた児の長期的 QOL を好くするために
13:00	演者：窪田 昭男 座長：前田 貢作	13:10～14:13	要望演題 2 短腸症候群、ヒルシュスプルング病類縁疾患の QOL 向上 座長：金森 豊 中村 雅恵
		14:13～15:16	要望演題 3 家族・兄弟支援、ストーマケア、プレパレーション 座長：窪田 正幸 作田 和代
14:00		15:25～16:07	要望演題 4 術後の合併症対策と QOL 向上の手術 2 座長：河野 美幸 内田 広夫
		16:07～16:56	一般演題 2 座長：増本 幸二 内田 恵一
15:00		16:56～	閉会の挨拶・次期会長挨拶
16:00			
17:00	17:00～17:45 幹事会 3F ジャスミン		
18:00	18:00～20:00 懇親会 3F オリーブ		
20:00			

プログラム

11月4日(土) 静岡グランシップ 10階 会議室 1001-2

9:00～9:05 **開会挨拶** 会長：漆原 直人(静岡県立こども病院 小児外科)

9:05～9:54 **要望演題1**

[術後の合併症対策と QOL 向上の手術1]

座長：植村 貞繁(川崎医科大学 小児外科)

大畠 雅之(高知大学医学部附属病院 小児外科)

01 学童期にスライド気管形成術を行った先天性気管狭窄症の1例：
QOL 向上を目指した手術適応拡大の可能性

森田 圭一(兵庫県立こども病院 小児外科)

02 先天性食道閉鎖症患児の術後 QOL 推移；胸腔鏡と従来法の比較

宮野 剛(順天堂大学 小児外科)

03 Nuss 法による胸郭支持効果が有効な先天性ミオパチーの1例

吉田 篤史(川崎医科大学 小児外科)

04 先天性十二指腸閉鎖症に対する臍を用いた小開腹アプローチ

清水 裕史(福島県立医科大学附属病院 小児外科)

05 体格の小さい重症心身障害児に対する術後 QOL 向上を目指した
腹腔鏡補助下経皮内視鏡的胃瘻造設術の経験

銭谷 昌弘(兵庫医科大学 小児外科)

06 手術中のインシデントを契機にした“透明ドレープ”の導入について

渡邊 佳子(杏林大学 医学部 小児外科)

07 新生児期一時的尿路変更として腎盂婁を作成した症例について

多田 実(埼玉県立小児医療センター 泌尿器科)

9:54～10:14 **特別講演**

座長：北川 博昭(聖マリアンナ医科大学 小児外科)

入院生活の QOL 改善や治療効果向上を目指した
ファシリティドッグによる介入について

鈴木 恵子(認定特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ ファシリティドッグ・ハンドラー, R.N.)

座長：加藤 純爾（愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児外科）
大野 康治（大分こども病院 小児外科）

08 聖マリアンナ医科大学病院における動物介在療法

長江 秀樹（聖マリアンナ医科大学病院）

09 術後収容時間短縮への取り組み ～早期面会を目指して～

仲 美由紀（久留米大学病院 看護部 東棟6階病棟）

10 虐待が疑われた学童女児会陰部 hair tourniquet syndrome の1例

大浜 和憲（公立松任石川中央病院 小児外科）

11 成人期を迎えた body stalk anomaly の1長期生存例

瓜田 泰久（筑波大学 医学医療系 小児外科）

**12 当院におけるリンパ管腫（リンパ管奇形）、
Klippel-Trenaunay 症候群の四肢皮下病変に対する減量手術の検討**

藤野 明浩（国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部 外科）

**13 下肢巨大血管奇形切除術の周術期に、
患児が主体的にケアに参加できるよう多職種で介入した1例**

牧田 夏美（名古屋大学医学部附属病院 医療支援室）

14 便失禁を伴う排便関連症状に対する生菌製剤をベースとしたテラーメイド治療

川原 央好（浜松医科大学 小児外科）

座長：漆原 直人（静岡県立こども病院 小児外科）

食物繊維の食事療法と効果

土岐 彰（昭和大学医学部 外科学講座 小児外科学部門）

共催：株式会社大塚製薬工場

**新生児期に外科的侵襲を受けた児の長期的 QOL を好くするために
—多職種連携による母親の精神的サポートを目的とする
近畿周産期精神保健研究会の取り組み—**

窪田 昭男(和歌山県立医科大学 第二外科)

[短腸症候群、ヒルシュスプルング病類縁疾患の QOL 向上]

座長：金森 豊(国立成育医療センター 外科)

中村 雅恵(静岡県立こども病院 看護部)

15 人工肛門拡張術により腸管追加切除を回避できている Hypoganglionosis の1例

大津 一弘(県立広島病院 成育医療センター 小児外科)

16 盲腸ポート造設により排便管理が容易となった hypoganglionosis の1例

東 紗弥(秋田大学医学部附属病院 小児外科)

17 大量腸管切除により QOL の改善を認めた CIIP の1例

岡村 かおり(大分県立病院 小児外科)

18 当科で在宅 TPN 管理を行なっている短腸症候群患者の現況

中尾 真(兵庫県立こども病院 小児外科)

19 短腸症候群の子どもと家族への退院支援の検討 —退院後訪問を実施して—

坂井 莉菜(兵庫県立こども病院 5西病棟)

20 短腸症候群成人例の QOL 向上のゴールはどこか？

望月 響子(神奈川県立こども医療センター 一般外科)

21 小腸移植を受けた患者の生活の変化 ～移植後に得たもの～

伊澤 由香(慶應義塾大学病院 看護部)

22 在宅静脈栄養管理症例の QOL 向上に向けての取り組み

加治 建(鹿児島大学学術研究院 医歯学域医学系 小児外科学分野)

23 思春期前期の子どもの療養行動への認識を深め自己価値を育んだ自由研究

作田 和代(静岡県立こども病院 成育支援室)

[家族・兄弟支援、ストーマケア、プレパレーション]

座長：窪田 正幸(新潟大学 小児外科)

作田 和代(静岡県立こども病院 成育支援室 チャイルド・ライフ・スペシャリスト)

24 小腸瘻周囲の皮膚障害に対してパウチドレナージが有効であった1例

今泉 孝章(聖隷浜松病院 小児外科)

25 小児処置におけるエムラクリーム(外用局所麻酔剤)の使用経験
～子供の痛みを軽減するために～

鴻村 寿(国立病院機構 長良医療センター 小児外科)

26 A小児病棟看護師の手術に関するプレパレーションが実施困難な理由

宮川 実紀(杏林大学医学部附属病院 小児病棟)

27 術前検査における保育士と母親によるディストラクションの一例

瀬戸口 あづさ(大分こども病院 医療技術部 医療専門保育士室)

28 NPO 法人手術を受けた子どもの成長支援の活動

坂井 佳恵(NPO 法人手術を受けた子どもの成長支援、京都府立医科大学附属病院 看護部)

29 継続した退院支援を必要とする短腸症候群の患児をもつ家族への介入

宇賀神 真紀(自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児外科病棟)

30 きょうだいたちあつまれ ～入院児のきょうだいにも目を向けての支援活動～

村上 勝美(静岡県立こども病院 成育支援室 保育士・HPS)

31 13トリソミー児をもつ家族への退院支援の取り組み

吉田 彩(金沢医科大学病院 新生児集中治療センター)

32 術後の膀胱直腸障害に対して早期より間欠導尿管管理を行った仙尾部奇形腫の1例

大矢知 昇(山梨県立中央病院 小児外科)

[術後の合併症対策と QOL 向上の手術2]

座長：河野 美幸(金沢医科大学 小児外科)

内田 広夫(名古屋大学医学部 小児外科)

33 当科における喉頭気管分離術後の合併症に関する検討

山本 聡史(東北大学病院 小児外科)

34 手術治療終了の判断に苦慮している食道気管裂治療後食道閉鎖の1例

安井 良僚(金沢医科大学 小児外科)

35 噴門形成術、胃瘻造設術を行うことで QOL が改善された周期性嘔吐症候群の 1 例

追木 宏宣(北里大学 小児外科)

36 人工肛門遠位側への便注入による肛門周囲皮膚炎の予防効果の検討

服部 健吾(長野県立こども病院 外科)

37 Hirshsprung 病術後の便失禁に対して肛門管形成を行った 1 例

嵯峨 謙一(公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 小児外科)

38 潰瘍性大腸炎手術における両下腿コンパートメント症候群の経験と現在の予防対策について

松下 航平(三重大学 消化管・小児外科)

16:07～16:56 **一般演題 2**

座長：増本 幸二(筑波大学医学医療系 小児外科)

内田 恵一(三重大学医学部附属病院 小児外科)

39 加硫促進剤(カルバミックス)にアレルギー反応を有する小児外科医の 1 例

山本 聡史(東北大学病院 小児外科)

40 外科介入を要した 13 トリソミーの 2 例

三藤 賢志(淀川キリスト教病院 小児外科)

41 漏斗胸の術後疼痛管理におけるアセリオ[®]静注液の有用性の検討

重田 裕介(関西医科大学 外科学講座 小児外科)

42 低 Na 血症による意識障害を呈した慢性特発性偽性腸閉塞の一例

蓮田 憲夫(山梨大学 第二外科)

43 放射線治療 10 年後に穿孔を来した放射線腸炎の 1 例

石川 未来(筑波大学附属病院 小児外科)

44 当院での経皮内視鏡的胃瘻造設術の検討

岩出 珠幾(加古川中央市民病院 小児外科)

45 経胃瘻小腸留置型チューブの使用経験 ―有用性と問題点―

中島 秀明(富山県立中央病院 小児外科)

16:56～

閉会挨拶

会長：漆原 直人(静岡県立こども病院 小児外科)

次期会長挨拶

次期会長：河野 美幸(金沢医科大学 小児外科)

特 別 講 演

教 育 講 演

ランチョンセミナー

一般演題

第28回日本小児外科 QOL 研究会 プログラム・抄録集

会 長：漆原 直人

事務局：静岡県立こども病院 小児外科

矢本 真也

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山860

TEL：054-247-6251 FAX：054-247-6259

E-mail：ch-surgery@i.shizuoka-pho.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<http://www.secand.jp/>



「ファシリティドッグ」ヨギ

ゴールデンレトリバー・オス

ヨギは病院に勤務する日本で二頭だけの「ファシリティドッグ」の一頭。

ファシリティドッグは、辛い闘病生活をおくる患者たちに触れ合い、励まし、精神的なケアを行うことで、治療が円滑に進むようにサポートします。

「患者を癒やす」という点では一緒ですが、さまざまな施設を訪問するセラピードッグに対し、ファシリティドッグの訪問先は固定しており、毎日同じ病院に通います。

第28回 日本小児外科QOL研究会 事務局

静岡県立こども病院小児外科

担当：矢本 真也

〒420-8660 静岡市葵区漆山860

TEL: 054-247-6251

FAX: 054-247-6259

E-mail: ch-surgery@i.shizuoka-pho.jp